

## 【水彩画クラブ27】卒業後7年目の活動 2019年10月

### ◇第148回活動:2019年10月14日(月) 午後1時から ヌエック207室

木村さんから今朝7時半頃にメールがあり、「近くの越辺川が氾濫して町が冠水した」とのこと。折り返し電話をかけた。「敷地内に水が被ったことから、畑や家の周囲を整理・掃除しなければならない」ので、クラブ活動を休むとのことでした。

佐久間さんから、第7回美術展の“案内ハガキ”が6枚ずつ皆に配られた。また、出展目録が黒板に提示され、自分の目録番号を各自控えた。同時に受付当番表の作成まともに入り、13点も出展される“切り絵クラブ”の清水さんに声をかけてヌエックに来てもらい、受付当番を決めた。

今回から新しい課題写真『智光山公園の水辺』を描いていく。

各自自宅で課題手本をつくり、水張りしたウォーターフォード水彩紙(F8orF10)にデッサンする。

今日の活動では左側の角内①と右側角内②を描いていくので、日が当たって白っぽく見える葉っぱと、薄い黄色っぽく見える葉っぱに夫々色を塗ってからマスキングを施してきた。

#### 1. 葉っぱ群の一番前にある明るい葉っぱを描いていく。

描いていく前に、葉っぱの重なりが無く、奥が見えるところに予めマスキングしておく。直ぐにドライヤーで乾かす。

##### ① 課題写真を見ながら、一番手前の明るい葉っぱを描いていく。

水溶きしていた明るめの緑色、濃い緑色を小筆に取り、課題写真を見ながら明るめの葉っぱを描いていく。

右側角内②の部分も同じように明るめの緑色で葉っぱを描いていく。

##### ② 塗った色をドライヤーで乾かしてから、描いてきた明るめの葉っぱにマスキングペンで描くようにしてマスキングしていく。

右側角内②の部分にもマスキングペンで葉っぱにマスキングしていく。

#### 2. 前項1で描いてきた明るめの葉っぱの奥に見える暗めの葉っぱや、濃い目の葉っぱを描いていく。

緑色、暗めの緑色(緑色にオレンジなどを混色)、青みがかかった緑色(緑色に暗青色を混色)を水溶きしておく。

##### ① 課題写真を見ながら、描いてきた明るい葉っぱの奥に見える葉っぱを描いていく。

課題写真を見ながら、それぞれ濃い目の緑色や暗めの緑色、青みがかかった緑色などを小筆に取って葉っぱを描いていく。

##### ② 右側角内②でも同じ要領で奥に見える葉っぱを描いていく。

##### ③ 塗った色をドライヤーで乾かしてから、描いてきた奥に見える葉っぱにマスキングペンで描くようにマスキングしていく。

#### 3. マスキングインクを十分に乾かしてから、描いてきた角内①と②に見える黒っぽい影部分を描いていく。

##### ① 黒っぽい影色をつくる。

暗青色に焦げ茶色を混色した影色に、黒っぽい紫色を少し混色して水溶きしておく。

##### ② 奥に見える黒いところに水を平筆で塗ってから、①の黒い影色で課題写真を見ながら黒いところに塗っていく。直ぐに水筆で周囲に滲ませていく。

※ 今日の活動はここまでで終わった。緑色の選択が違っていたので、描き直すことにした。

#### 4. 次回(10月28日(月))の活動予定 ヌエック研修棟 207室

今回は今日描いてきた左右の角内①と②の上に見える青い水面と木や葉っぱ、中央に見える十数本の草木と大きめの葉っぱなどを描いていく。  
自宅で準備しておくこと。

##### ① 左側上部に突き出ている細い立ち木や白っぽく見える葉っぱなどに、課題写真を見ながら色を塗ってからマスキングしておく。

##### ② 今日描いてきた左側の上部に施しているマスキングインクは剥がし取らないこと。右側上部も同じくマスキングは剥がし取らない。

### ◇第149回活動:2019年10月28日(月) 午後1時から ヌエック207室

一昨日(12日)の台風21号と亜熱帯低気圧の影響で大雨が見舞われ、2週間前と同じく越辺川と幾つかの

川が増水し、それらが集まる入間川も川越で溢れた。川島町の木村さん宅では2週間前と同じく敷地内に冠水したが、避難するほど酷くなかったとのことでした。

美術展担当の坂本さんから“美術展 受付当番表”をみんなに配られた。また、関矢さんが11月7日(木)予定の打上げ宴の会費(4,000円)を集金された。

『智光山公園の水辺』の2回目の活動では上部の水面を描いていくので、

- ① 左側上部にある木々の葉っぱ、陽が射して白っぽく見える葉っぱなどにマスキングしておく。左端の2本の立ち木にもマスキングしておく。
- ② 中央部にある立ち木の葉っぱ、水際周囲の葉っぱ群を描いてからマスキングしておく。
- ③ 右側大木にかかっている葉っぱや、その左に見える葉っぱを描いてからマスキングしておく。
- ④ 大木下部の水際にある葉っぱ群を描いてからマスキングしておく。

を各自自宅で準備してきた。

1. 右側大木の、陽が当たって白っぽく見えている部分にマスキングを施す。
2. 水辺周囲の立ち木などが日射して写り込んで見える、緑っぽい波頭状の影を描いていく。
  - ① 緑色などに影色(暗青色と焦げ茶色を混色)を混色して緑色の影色をつくる。
  - ② 波頭状の影が見える部分に、平筆で水を塗っていく。
  - ③ 緑の影色を小筆に取り、課題写真を見ながらサーッと描くように塗っていく。
3. 中央から左側の水面に見える紫の水面を描いていく。
  - ① 紫色を淡い目に水溶きしておく。
  - ② うす紫色の影が見える部分に、平筆で水を塗っていく。
  - ③ 淡い目の紫色を小筆に取り、課題写真を見ながら塗っていき、直ぐに水筆で周囲にぼかしていく。
4. 塗ってきた緑と紫の影色をドライヤーで十分に乾かしてから、水面を描いていく。
  - ① 鮮青色に少し深青色を混色して、淡い目の青い水の色を水溶きしておく。
  - ② 上部と中央部の立ち木の中にハケで水をサーッと塗っていく。
  - ③ 前項①でつくった淡い青色を平筆に取り、サーッと平筆を左右に動かしていき、水面全体に塗っていく。左側葉っぱ群右側と中央立ち木の左側、中央立ち木群の中、右側立ち木の右側に見える水面を塗っていく。
5. 塗ってきた緑と紫の影色をドライヤーで十分に乾かしてから、左側上部の木々と葉っぱ群を描いていく。緑色、暗めの緑色(緑色にオレンジなどを混色)を水溶きしておく。
  - ① 課題写真を見ながら、描いてきた明るい葉っぱの奥に見える葉っぱを少し濃い目の緑色で描いていく。
  - ② ドライヤーで十分に乾かしてから、暗めの緑色を小筆に取り、①で描いてきた葉っぱの間に見える葉っぱを描くように塗っていく。
  - ③ ドライヤーで十分に乾かしてから、その奥に見える葉っぱを意識しながらマスキングペンで描くようにマスキングしていく。
  - ④ マスキングインクをドライヤーで乾かしてから、暗めの緑色に木灰色を混ぜてつくった黒っぽい緑色を小筆に取り、課題写真を見ながら一番奥に見える葉っぱを描いていく。

※ 今日の活動はここまでで終了した。中央立ち木群の葉っぱや木々、右側大木と左右の枝木、その下側の葉っぱ群などを各自自宅で仕上げる。

#### 6. 次回(11月11日(月))の活動予定      又エック研修棟 207室

今日描いてきた上部の水面や中央部の立ち木と葉っぱ群、右側の大木とその下部の葉っぱ群を、各自自宅で仕上げたら、次の準備をしていくこと。

- ① 右側下の角に見える黄味がかかった岩肌を課題写真を見ながら描いてくる。
- ② 下部の岸部屋水辺に見える葉っぱ、右側角の岩肌に見える淡い緑の葉っぱ(描いても、描かなくても良い)、茶色い落ち葉や所々に見える落ち葉を描いてから、マスキングをしていく。

#### ◇第150回活動:2019年11月11日(月) 午後1時から 又エック207室

昨夜からの雨は朝方にはあがり、武蔵嵐山の又エックでは白い雲の切れ目から日射しも見えていた。今日の活動は課題写真『智光山公園の水辺』の3回目で、下方の水辺を描いていく。

各自自宅で左側の葉っぱ群や中央灌木の下部と右側葉群の仕上げし、右下の黄味がかかった岩肌を描いていく。

てきた。

1. 見えている落ち葉などを描いてから、マスキングしていく。

① 自宅で見えている黄色っぽい葉っぱ、赤茶色や黒っぽい緑の葉っぱを描いてから、マスキングをしていく。

他に見えている葉っぱ等を描いていく。

② 右側の水辺に見えている赤茶けた落ち葉に、焦げ茶色に黄色や赤茶色と混色した赤っぽい色を暗い茶系の落ち葉の周りに課題を見ながら塗っていく。

③ 描いてきた落ち葉などをドライヤーで乾かしてから、マスキングペンで描くようにマスキングしていく。

④ 黒く見える底の岩(?)面に所々見える青い水たまり(?)に、課題を見ながら描くようにマスキングしていく。

2. 施してきたマスキングインクをドライヤーで乾かしてから、青っぽい水面を描いていく。

① 青っぽい水色をつくる。

a) 明るめの水色 鮮青色に深青色を混色して多目につくり、水溶きしておく。

b) 濃い目の水色 鮮青色に深青色を混色し、少し紫色を混ぜて多目に水溶きしておく。

c) 紫っぽい水色 鮮青色に深青色を混色し、少し多目に紫色を混ぜて多目に水溶きしておく。

② 下方の水面全体に予めハケで水を塗ってから、明るめの水色を大き目の平筆に取り、課題を見ながら水面全体に塗っていく。

塗ってきた水面をドライヤーで乾かしてから、水を塗ってから同じ明るめの水色を平筆に取り、課題を見ながら二度塗りしていく。(濃くならないように注意しながら、ムラの無いようにきれいに塗っていく)

③ 塗ってきた明るい水色をドライヤーで乾かしてから、下方の水面に紫っぽい水色を平筆に取り、同じように水を塗ってから課題を見ながら紫っぽい水面を塗っていく。

④ 次に中央の明るめの水面の右側水面を濃い目の水色を平筆に取り、予め水を塗ってから課題を見ながら濃くならないように気を配りながら塗っていく。

塗ってきた水色をドライヤーで直ぐに乾かしておく。

3. 黒く見えている水底を描いていく。

① 黒っぽい水底の色をつくる。

暗青色に焦げ茶色を混色して影色をつくる。つくった影色に緑色を混ぜて緑がかかった影色を少し濃い目に水溶きしておく。

② 緑っぽい影色を中筆に取り、課題を見ながら水底を塗っていく。

水との境目を水筆でなぞって少しぼかしておく。

③ 左側下部分の茶色系水底を描いていく。

少し多目の焦げ茶色に暗青色を混色して茶色がかかった影色をつくり、その色を中筆に取って描いていく。

※ 今日の活動はここまでで終了した。

4. 次回(11月24日(日))の活動予定 スエック研修棟 207室

次回活動の課題写真『古代蓮・水城公園の水辺』が配られた。

宿題してくること

① 手本用の写真2枚を接合部で貼り合せ、手本台をつくる。

② 水張りしたF8(orF10)のウォーターフォード水彩紙にデッサンする。

③ 表面に見える葉っぱに色を塗ってから、マスキングをしてくる。